

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2024年6月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

震源のプロット

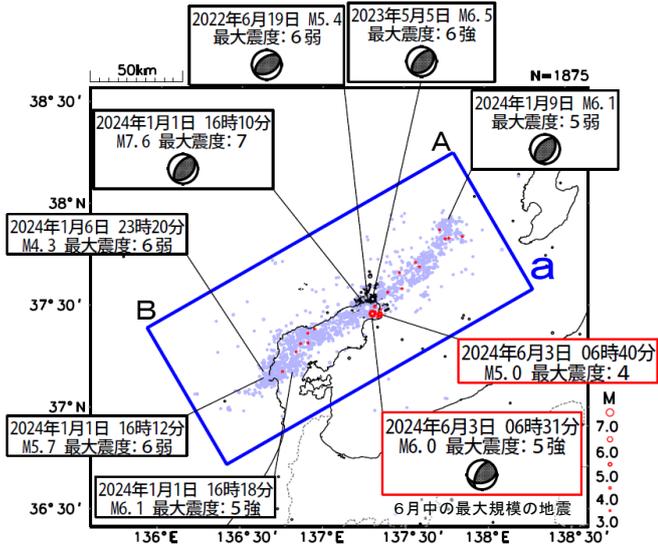
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～5月31日

赤色 2024年6月1日～30日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び6月中に震度4以上を観測した地震

図中の発震機構はCMT解



能登半島では2020年12月から地震活動が活発になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震 (最大震度6強) が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

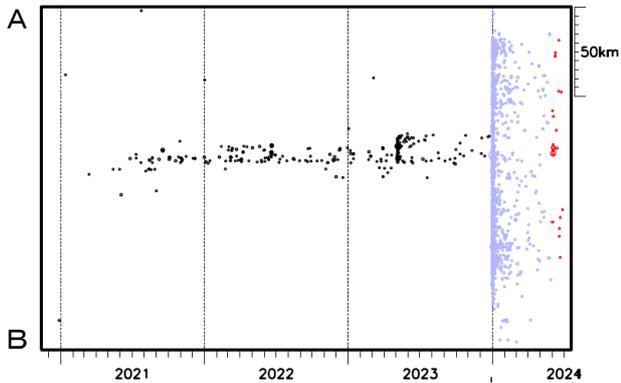
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ (最大震度7) の地震が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東-南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

2024年6月中の最大規模の地震は、3日06時31分に石川県能登地方の深さ14kmで発生した $M6.0$ の地震 (最大震度5強) である。この地震により長周期地震動階級2を観測した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、重傷1人などの被害が生じた (2024年6月6日09時30分現在、石川県による)。また、同日06時40分には $M5.0$ の地震 (最大震度4) が発生した。

地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少してきているが、6月中に震度1以上を観測した地震が35回発生するなど活発な状態が続いている。

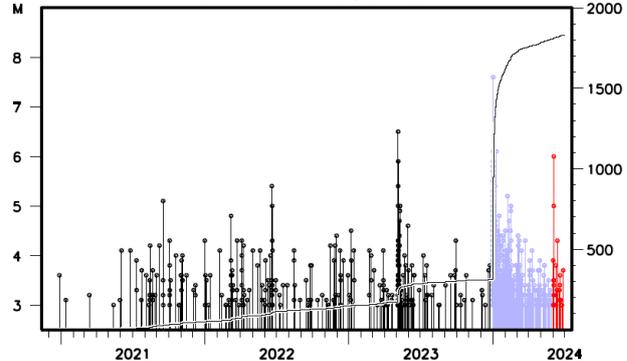
領域 a 内の時空間分布図

(A-B投影、2020年12月以降)

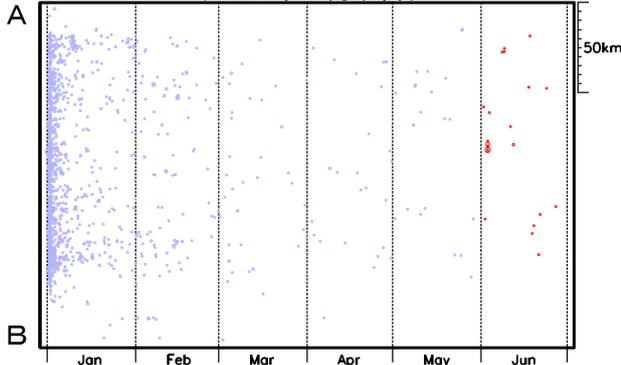


領域 a 内のM-T図及び回数積算図

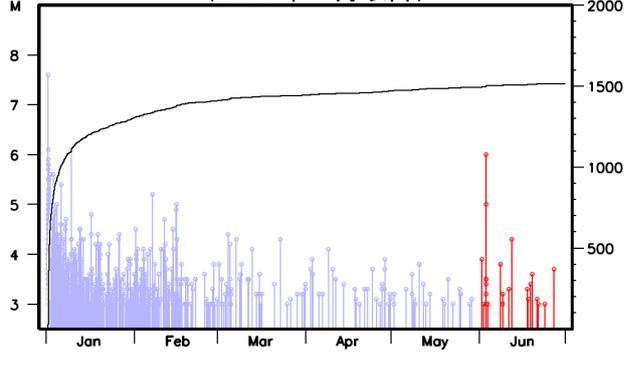
(2020年12月以降)



(2024年1月以降)



(2024年1月以降)



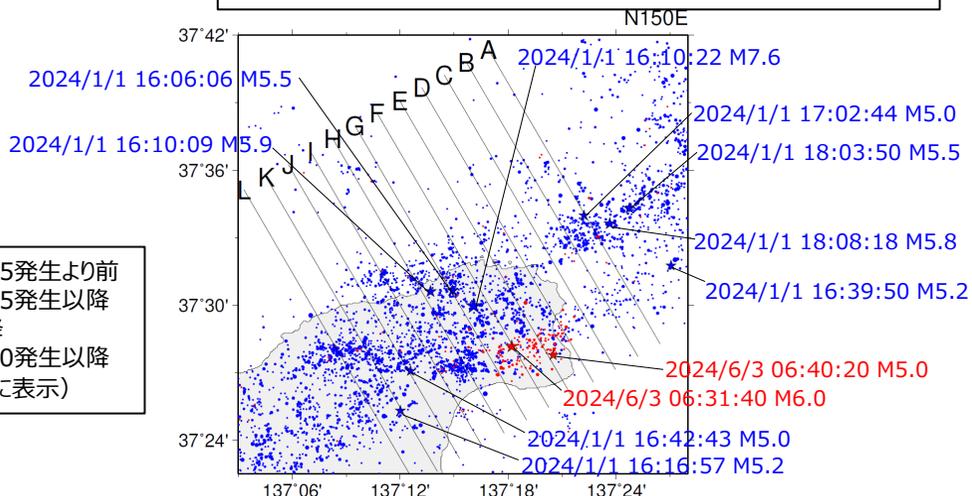
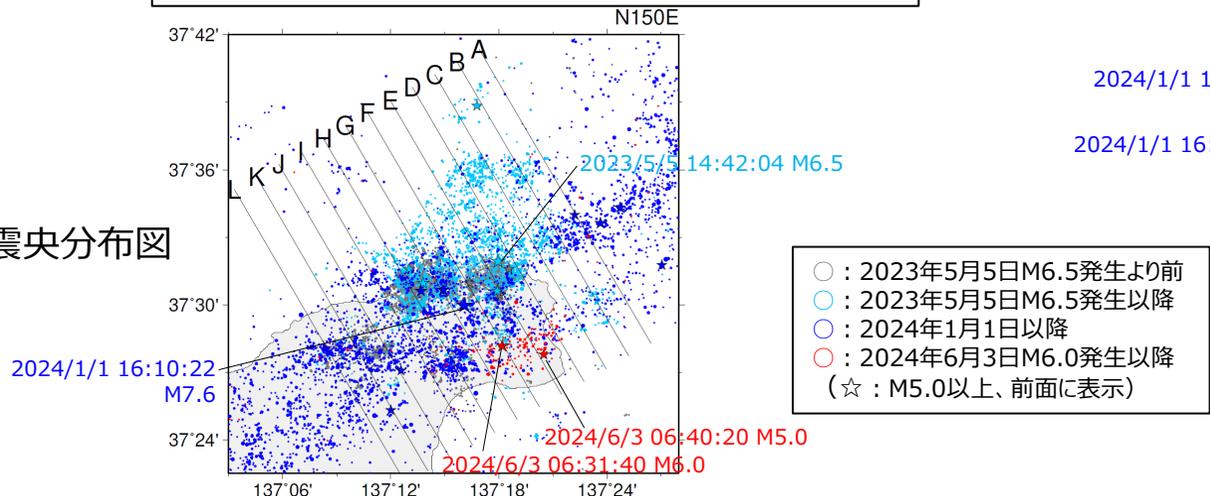
「令和6年能登半島地震」(2020年12月からの活動域における震源分布比較)

波形相関DD法により再決定した震源データ：2020年12月1日～2024年6月18日、深さ0～40km、M \geq 1.5

表示期間：期間全体
(2020年12月1日～2024年6月18日)

表示期間：M7.6発生後
(2024年1月1日～6月18日)

震央分布図



各投影面の断面図

